

環境分野の研究を促進

(研究期間：平成25年度～)

環境研究推進本部

下水道研究官
(博士(工学))

南山 瑞彦

水環境研究官

福濱 方哉

道路環境研究室長

大城 温

住宅情報システム研究官

布田 健

沿岸海洋新技術研究官

岡本 修

緑化生態研究室長

大石 智弘

(キーワード) 気候変動適応、グリーンインフラ

3.

豊かで暮らしやすい地域・環境を創る研究

1. はじめに

国総研の各研究部・センターは、国土マネジメントに関する研究の一環として、施設・事業分野ごと、低炭素社会、循環型社会及び自然共生社会の実現に関わる多様な環境研究を進めている。環境研究推進本部は、これら環境研究活動の対外発信、また、所内環境研究者の相互交流・知見共有・視野拡大を目的に、2013年度から活動を行っている。

2. 2020年度における活動

環境研究活動の対外発信については、ホームページを用いた情報提供のほか、適切な機会を通じて研究内容の紹介を行うよう努めている。その一つとして、環境研究に携わる国の施設等機関、国立研究開発法人及び国立大学法人の13研究機関からなる「環境研究機関連絡会」に幹事機関として参画している。2020年度は、12月に開催した第2回環境研究機関連絡会研究交流セミナーにおいて、全体テーマ「気候変動影響・適応に関する取組」の中で「治水への影響評価と適応策に関する研究・技術開発」と題して口頭発表を行い、総合討論において「流域治水に関する話題」を提供し議論した。



写真 セミナー参加の様子

また、所内環境研究者の相互交流・知見共有・視野拡大については、2019年7月に国土交通本省から「グリーンインフラ推進戦略」が公表されたことを背景に立ち上げられた「グリーンインフラ官民連携プラットフォーム」（国土交通本省環境政策課事務局）の技術部会幹事メンバーとして参画し、必要な技術開発や研究に関して得られたアウトプットについて「グリーンインフラに関する勉強会」等を通じて情報共有を図ることとした。

さらに、研究者間の自由な意見交換（交流）の場として新たに設置された「気候変動適応の研究会」（国立環境研究所事務局）に参画した。

3. おわりに

環境研究は、防災・減災研究などと同様、国土交通省の使命である持続的な国土・社会づくりに大きく関与している。

環境研究推進本部では、グリーンインフラをはじめ所内における類似した環境研究の方向性の整理や横断的な課題に対して推進本部としての研究の実施を模索することを含め、引き続き所内における環境研究の推進と成果の発信に努めていく。

☞ 詳細情報はこちら

環境研究推進本部HP

<http://www.nilim.go.jp/japanese/organization/khonbu/indexkankyou.htm>